

平成 29 年度第 1 回逗子市総合計画審議会 会議概要

日 時：平成 29 年 4 月 6 日（木）18：00～20：05

場 所：逗子市役所 5 階会議室

出席者：

【委 員】出石会長、木村副会長、倉田委員、長島委員、稲委員、磯部委員、三原委員、相川委員、山口委員、池谷委員、桑原委員

【事務局】和田経営企画部長、福本経営企画部次長、仁科企画課主幹、四宮主任、橋本主事（記録）

欠席者：3 人（窪田委員、佐野委員、柳沢委員）

傍聴者：0 人

【配付資料】

- ・次第
- ・【資料 1】意見等に対する対応について
- ・【資料 2】評価ランクの基準
- ・【資料 3】事業進行管理表
- ・【資料 4】個別計画進行管理総括表
- ・【資料 5】基幹計画進行管理表
- ・【参考 1】総合計画進行管理表及び旧進行管理様式
- ・【参考 2】進行管理部会が評価する計画・事業一覧
- ・逗子市総合計画審議会委員名簿（平成 29 年 2 月 17 日現在）
- ・平成 28 年度第 2 回総合計画審議会会議録

議事概要：

1. 開会

2. 総合計画の進行管理の様式の改善について【審議】

- 総合計画の進行管理の様式について、資料 1～5 にそって事務局から説明を行った。
- 資料について、次の質疑及び意見があった。

（資料 1）

- ・ No. 23 について、市で検討した結果は総合計画審議会で報告をしてほしい。
- ・ No. 24 について、情報の提供は誰がどのように行うのか。総合計画審議会の委員からの要望がでていると伝えてほしい。

（資料 2）

- ・ 平均点はどのように算出をするのか。

(資料3)

- ・主な事業内容は具体的でないと評価できない。
- ・数値目標のある事業の場合、目標達成状況に数字が入ってくるのか。

(資料5)

- ・「未策定」という表記がわかりにくい。未策定でもBがもらえるのか。未策定なら評価をするべきではない。
- ・計画は未策定だが、実態が客観的に存在するのならば評価してもよい。
- ・個別計画はできていないが、小柱があるので進行管理をする必要がある。
- ・注釈は必要であるため、評価の欄ではなく計画名の欄に「未策定」と入れたらどうか。

(参考1)

- ・市の評価は誰が記入するのか。
 - ・市長の評価後に、裏面の総合計画審議会の意見を記入するのか。それとも、その逆か。
 - ・市長の思い、総合計画審議会の意見が各部局へきちんと伝わるようにするべきではないか。
- 総合計画の進行管理の様式の改善については承認とする。ただし、資料5、未策定の個別計画については、未策定ということを計画名の欄に付すことでわかるようにすること。
- 市長が総括評価した後、総合計画審議会が出した答申について、何らかの対応がなければ本審議会での答申は意味がない。しっかりと市長を含めて再度検討し、総合計画審議会での結果を示してもらいたい。

3. 部会員の指名について

- 進行管理部会の部会員について、意向の確認を行った。
- 公募委員から稲委員、倉田委員、長島委員、住民自治協議会から磯部委員、三原委員、相川委員に部会員をお願いすることとした。
- 4月26日付で認定される久木小学校区住民自治協議会から本審議会に参加する委員にも部会員をお願いすることとした。

4. その他

事務局から、次回の会議の日程については、後日調整をする旨連絡があった。

5. 閉会